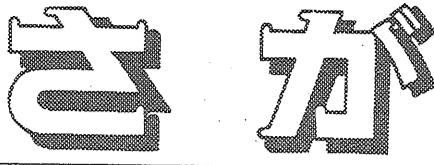


5月 1日号

市報

N6509



発行所 佐賀市役所  
佐賀市神野町33番地の3 〒840  
電話代表 ②3151番  
発行人 市長公室長

## 佐賀市の人口

4月1日現在	前月比
人口 161,818	- 854
男 77,076	- 498
女 84,742	- 356
世帯 49,904	- 361



## 交通事故のない町に

五十二年中の

## 交通事故千百十八件も

佐賀市内で、昭和五十三年に起きた交通事故は、発生件数が千百十八件、死者が十三人、負傷者が二十四人にものぼり、前年に比べて、発生件数が七十四件、負傷者で百五十人(死傷者数は同じ)も増加しています。

昭和五十三年の交通事故を分析してみますと、①運転者の不注意、②前方不注意によるもの、③一・八パーセント、④右折の不適によるもの、⑤左折の不適によるものとなっています。

佐賀市交通対策協議会では、佐賀警察署など交通関係機関のほか、佐賀市、交通安全母の会、市PTA協議会、市老人クラブなどの団体と連携をとりながら運動を推進していくことになりました。

期間中は、おもに次のことを実施する予定です。

①スクールゾーンを中心とした学校周辺、住宅地や商店街など日常生活が営まれる地域では、歩行者および自転車利用者の安全を確保するために、速度制限、大型車通行禁止、駐車禁止等の交通規制を強化すると共に、歩道、路側帯、自転車横断帯、ガードレール等の安全施設の点検整備を積極的に行い、歩行者と車の分離、歩行者および自転車利用者の通行のために十分なスペースが確保できるよう努めます。

②自転車の安全な通行に必要な交通規制と自転車用道路や自転車レーン等の整備を促進するとともに、自転車置場の確保についても、力のもとに積極的に推進します。

③交通安全教育の推進幼児に対しては、幼児交通安全に対する認識と意識高揚などを、公共交通機関のほか、道路パトロール、主要交差点などでの街頭指導、小学生・幼稚園児の交通安全教室を開催、夜間に応じた交通安全教育を行います。

老人に対しては、交通安全教室を開催するほか、高齢者教室、クラブ活動などをとらえて、老人の特性に応じた交通安全教育を行います。

その他、道路パトロール、主要交差点などでの街頭指導、小学生・幼稚園児の交通安全教室を開催、夜間に応じた交通安全教育を行います。

また、犠牲者は、マイカ一族に多く集中しています。たまの休日に家族のを運転する程度で、それほど車の運転時間が豊富ともいえないドライバたち。

周辺の道路事情に不案内とくれば、事故を起こしやすくなることがあります。それがいきなり高速道路に出てスピードを出す。しかも、長距離のうえに運転地の運転時間が豊富ともいえません。

これがいきなり高速道路に出てスピードを出す。しかも、長距離のうえに運転地の運転時間が豊富ともいえません。

五月十一日(金)から二十日(日)までの十日間、全国いつせいに春の全国交通安全運動が繰り広げられます。今回は、①歩行者および自転車利用者、とくに新入学(園)児と老人の交通事故防止②飲酒、暴走、過労運転の追放③夜間の交通事故防止④乗車用ヘルメットとシートベルト着用の推進を重点目標とし、交通事故のないまちづくりをめざしています。

## 春の全国交通安全運動

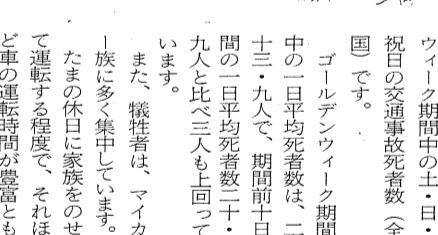
5月11日～5月20日

循誘公民館前の水路に放流されるタップミノー



## タップミノーを放流

## ボーフラ退治のエース



## 虫ボーフラの天敵であるタップミー約二千万匹を市内二十八か所のクリークに放流しました。

タップミー一匹で、少なくとも一日に、ボーフラ五十匹を食べるといわれおり、これから急増するボーフラの退治に、十分な効果が期待できます。

家の周りの水たまりなど蚊の発生場所となります。これは昨年のゴールデンウィーク期間中の土・日・祝日の交通事故死者数(全国)です。

ゴールデンウィーク期間中の一日平均死者数は、二十三・九人で、期間前日間の一日平均死者数二十・九人と比べ三人も上回っています。

また、犠牲者は、マイカ一族に多く集中しています。たまの休日に家族のを運転する程度で、それほど車の運転時間が豊富ともいえないドライバたち。

これがいきなり高速道路に出てスピードを出す。しかも、長距離のうえに運転地の運転時間が豊富ともいえません。

これが

